

「第6回 しまだ大井川マラソンinリバティ」に参加しました～10月26日(日)～



先月号で自己紹介した出張所併任の下和田です。10月26日(日)に静岡河川事務所が管轄する大井川で「第6回 しまだ大井川マラソンinリバティ」が開催されました。

このマラソンは42.195kmのフルマラソンで、コースがフラットなうえ制限時間が7時間30分と長いことから初心者でも参加しやすいと、大変人気の大会です。私も静岡に来て河川の仕事をしていますので「これは参加するしかない」と思い人生初フルマラソンに挑戦しました。

結果は...無事完走できました!! タイムも4時間41分と事務所の参加者の中では一番早く、若者の意地を見せることができました。地元の方々の和太鼓の応援や、休憩所での島田汁が実力以上の力を引き出してくれたように感じます。

皆さんも大井川のリバティで、河川の景色を楽しみながら走ってみてはいかがでしょうか。私は、来年のマラソンに向けてトレーニングを再開します。(目指せ4時間!!)



「しまだ大井川マラソン」完走しました!
 【中央】下和田(10月号で自己紹介)
 【右側】道前(4月号で自己紹介)

大谷崩で静岡西・北ロータリークラブ主催の植樹会を開催～10月26日(日)～

10月26日(日)に、毎年恒例となった静岡西・北ロータリークラブが主催する植樹会を大谷崩で開催しました。

当日は、曇りもようでしたが秋色に染まった大谷崩の全貌を確認することができ、安倍川砂防の概要と大谷山腹工の目的を理解して、植樹体験により山腹工の効果を身をもって体験して頂いた一日でした。

参加者は、留学生や家族連れの外の方が多く、中には毎年参加して「今年の紅葉が一番きれい。大自然で今年も植樹ができ大変うれしい。お仕事大変ですが頑張ってください。」と励まして頂きました。

主催された静岡西・北ロータリークラブは、来年40周年を迎えるとのことで、毎年のご尽力に感謝の念に堪えません。



紅葉深まる大谷崩で植樹体験

秋深まる大谷崩で現場視察会や自然観察会を開催

今年の大谷崩はここ数年で一番の紅葉ということもあり、多くの観光客が大谷崩を訪れました。その中で、依頼があり大谷崩の起源や安倍川砂防の事業説明など、出張所として取り組んだ活動を紹介致します。

【10月29日】国際協力機構(JICA)の研修で、東南アジア、中南米、アフリカ諸国などの開発途上国の「土砂災害マネジメント」を研究するスペシャリストの方々が大谷崩を視察されました。

【11月3日】静岡科学館る・くると連携して、一般参加者6組16名をお迎えし自然観察会を開催しました。紅葉した樹木や拾い集めた石に夢中で、指導員や学芸員の解説に興味津々でした。

【11月11日】海岸侵食が社会的課題となっている「清水海岸侵食災害防止対策促進期成同盟会」の方々が三保松原のふるさと安倍川源流部を視察し、総合土砂管理の重要性を体感されました。



目を輝かせ熱心に質問されました



指導員から説明を受ける参加者



三保松原のふるさと安倍川を視察

「工事だより」平成26年度 安倍川水系大谷山腹法面工事

【施工者:(株)新村組、現場代理人:志村 秀範、工期:平成26年6月11日～平成26年12月12日】

本工事は、大谷崩の山頂部で崩れの元を断つため特殊配合モルタル吹付工を実施しています。工事現場は、標高1700mの崖の上での作業で、命綱1本を頼りに少しでも気を緩めれば、即転落、死亡事故と直結している現場です。毎日、ロープ、ロリップ、落石危険個所の点検、上下作業禁止等々、細心の注意を払って作業しています。現場作業員の安全への意識も高く、熟練度も高いため、11月中旬には無事故で今年度の作業を終えました。

また、大谷崩は観光地でもあるため、登山者や観光客に配慮して、登山マップ入りのイメージアップ看板、ミニ植物園、第3者用トイレなどを設置するとともに、大谷工事用道路の草刈りや登山道の整備(新窪乗越まで)、台風後の道路清掃なども実施しました。今年は台風11号の大雨(470mm)で、ここ数年では1番大きな土石流が発生し、現場事務所前の展望台から流入した土砂の撤去も行いました。台風の置き土産でしょうか河床から生痕化石も発見しやすくなりました。台風の来襲後には土石流簡易調査を実施しますが、現場内の被災状況や避難経路の確認など、安全管理の一環として重要なことと考えています。

現在の大谷崩は、彩りの紅葉を終え、より厳しく人を寄せ付けがたい冬の季節を迎えようとしています。



65km以内の雷を知らせる雷検知器



拡声器を持つ見張り員を常時配置



第3者(登山者)用のトイレを設置



過酷な現場での作業風景



登山道の整備作業状況



土石流の通過状況(一の沢)



紅葉最盛期の大谷崩(10月26日)と本年度の施工箇所

編集後記

11月16日(日)に「安倍川流木クリーンまつり」が安倍川親水広場と牛妻会場で開催されました。平成15年から重ねること今年で12回目の開催となり、約1450名の参加で、流木回収量は550m³だったそうです。

今年も「木枯らし1号」情報があり、落葉が目立つ季節となりました。「木枯らし1号」は、関東地方と近畿地方で、以下を基準に発表されます。

- (1) 期間は10月半ば(晩秋)から11月末(初冬)までの間に限る
- (2) 気圧配置が西高東低の冬型となって、季節風が吹く
- (3) 毎秒8メートル以上の北よりの風

梅ヶ島街道は、朝夕の凍結が心配されます。スピードを控えて安全運転に心がけましょう。

皆様からの情報やご意見を募集しますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html



安倍川流木クリーンまつりの様子

